

2006
8
AUG.
vol.330

中・央・会・だ・よ・り



組合探訪

企業組合オフィスケイ

Chuo-kai news
大分県中小企業団体中央会

鶴御崎灯台 鶴見町

企業組合オフィスケイ

旅行業界は、IT化の進展により旅行代理店の支配力が衰退し、航空会社や鉄道会社がインターネットを活用した直販に乗り出しています。このような状況の中、温泉観光地である別府市を営業拠点に店舗を構え、ホームページを支店と位置付け第2営業拠点として運営し、県内外の顧客層を取り込み、確実に業績を伸ばしている企業組合オフィスケイの栗屋理事長にお話を伺いました。



▲栗屋しのぶ理事長

―組合設立の経緯を教えてください。

栗屋理事長 旅行会社を退職後、友人4人で当組合を立ち上げました。有限会社も検討していたのですが、トップダウン型組織ではなく、各構成員が経営者であり労働者である企業組合制度が私どもの理想と一致しており、また、偶然にも設立要件の組合員数と賛同者数が同数であったことから設立を決めました。4人での共同経営になりますと、利益も四分の一ですが、リスクも四分の一と分散されます。やはり、1人で経営すべのり

スクを負う勇気はなかったですね。けれども、事業が軌道に乗る前に方針や意識のズレから3人が脱退し、1年後には組合員は私1人だけとなりました。2期目に入り積極的に組合員の募集を始めたところ、非従事組合員を含め現在は12名までに増加しました。

―事業内容について教えてください。

栗屋理事長 旅行業ですが、屋号の「トラベルネット」の名称は「ネット旅行社」を目指して付けました。地方での事業展開ですので、クリック（ネット）&モルタル（店舗）の2本立てで事業を行っています。有店舗で地元から外に出られるお客様を、ネット（ホームページ）は支店という位置付けで大分に來られる方を中心にご案内しています。これは着地型商品ということで、やはり、地元の事は地元の業者が一番詳しい訳ですから、他県同業他社にはないオリジナル商品をご案内しています。ホームページ作成には、高い技術力と設備投資が必要です。当組合のホームページですが、

1回目の作成は失敗に終わり、2回目は自分で作成してみたもののなかなかイメージどおりのものは出来上がりませんでした。そして昨年度、全国中央会の組合等情報ネットワークシステム等開発事業（中小企業活路開拓調査・実現化事業 総事業費の十分の六補助）を活用し、ホームページの再構築と組合内のネットワークシステムを確立しました。これにより、顧客管理、予約システム、経理が一元化され、人件費削減、予約業務の時間短縮、ミスの軽減等の効果がありました。ホームページですが、本格的に稼動してから



▲組合事務所内

デジタルとアナログが融合した旅行代理店を目指す



▲組合店舗

まだ3、4カ月しか経過していませんので、秋頃より効果が表れてくるかと思えます。ホームページは生き物です。これを育てていけるか、守っていけるかは、今後の更新業務にかかっています。ユーザーの目は厳しいです。更新を怠ると離れていきます。例えば、宿泊予約をしようとしたホテルが満室だった場合、他のホテルをご案内するなどホームページ上ではデジタルでの対応だけでなく、アナログでの対応も必要ですし、これが他社との差別化に繋がる訳です。



▲県内ツアーも充実、ブログも読みごたえありのHP

「最後に今後の課題、抱負をお聞かせください。」
 栗屋理事長 まず組合内部では、

「業界の現状について教えてください。」

栗屋理事長 ホテル、航空会社を中心に旅行会社を通さない直販が増加しています。また、旅行の低価格化により、手数料収入は減取しており、打破出来ない状況です。当組合は、SARS（サーズ）やテロ事件直後の旅行業界が最低だった時期に設立されたので、良い時期を知りませんが、かえってそれが良かったのかもしれない。

非従事組合員に組合への関心を高めてもらい、今以上に経営に参画していただきたい。また、組合内のネットワーキングが先行し、それに人の能力が追い付いてない現状ですので、これも今後の課題です。お陰様でリピーターや口コミ、紹介が途絶えることなく、営業活動に多くの時間を取れない状況下でも業績は伸びています。旅行は衣食住にプラスアルファのことであり、絶対的に必要なことではありません。そこにいかに価値観を見出すか、ユーザーのニーズを引き出せるかなのです。ホームページについても正直、今は構想の三分の一ほどが出来上がった状態です。地方の旅行会社が地方でしか出来ない利点を活かす事を、昨年度のシステム構築中に感じました。これから、団塊の世代の退職者がターゲットの一つとなります。別府市には昔の賑わいを取り戻せるだけのものはあります。湯治目的の長期滞在型プランや女性、主婦層向けプラン等、これからも自社にしかないオリジナル商品をご案内していきます。

担当指導員から一言

当組合は、地元の顧客に県外・国外を紹介するという通常の旅行業の発想とは異なり、インターネットを活用し、大分県に観光客を誘致しようという「着地型旅行業」に重点を置き、設立後4年目に入っている。昨年度には、全国中央会の活路開拓事業に取り組み、ホームページもますます充実の度を増している。理事長自ら、国内外を飛び回るため、代表理事を2名置き（複代表制）、元ホテルマンのご主人を中心に留守をしっかり守っている。

（吉岡徹指導員）

■組合Data■

※平成18年7月末現在

組合名	企業組合オフィスケイ
所在地	別府市野口元町12番31号
組合設立	平成14年11月
代表理事名	栗屋しのぶ
組合員数	12名
出資金額	980万円
URL	http://www.k-travel.net/